

- **Tips of the case study**
 - **独自フォーマットもOKです。ただし「1枚」で**
 - **出来れば英語版も作成いただけると助かります**
 - ・ **英語版は、なし/後日、でも構いません**
 - **資料は当日のみ投影可、の場合は「Wiki:NG」に○してください**
 - **「資料なし。当日口頭での発表」もWelcomeです**
 - **「某X社」, 「某社」, 「匿名希望」, でも構いません**
 - **「何が良い・悪い」、ではなく、参考になる点を見つけられる機会になれば、というスタンスです**
 - **できれば1ファイルにしてWikiに掲載したいです。理由は、その回に参加できなかった方にも参考にして頂くため、です**

- **Tips of the case study**
 - **Original format by an attendee is acceptable, but within 1 page.**
 - **“No material, only aural presentation” is acceptable.**
 - **Condition of anonymity is acceptable.**
 - **We do not judge “Good” and “Bad”, but want to find reference companies in the same situation.**
 - **We want to disclose the materials on Wiki, so that member who could not attend can read later.**

・ テーマ例

- 社内のOSSコンプライアンス推進、体制/組織としては、こんな感じです
- 技術者への説明の導入で、どんなことを伝えている？
- 定期的なOSSコンプライアンス推進 (啓発) に、していることは？
- 子会社・孫会社対応は？ 海外対応は？
- OSSへのコントリビューションの際のあれこれ
- 技術以外の職能の協力の取り付け方やアプローチの仕方
- 「他社さんはこうなのに、なぜ当社はこうなの？」と言われたときの返しは？
- 開発現場からの「xxxxxx」という声に、どうしている？

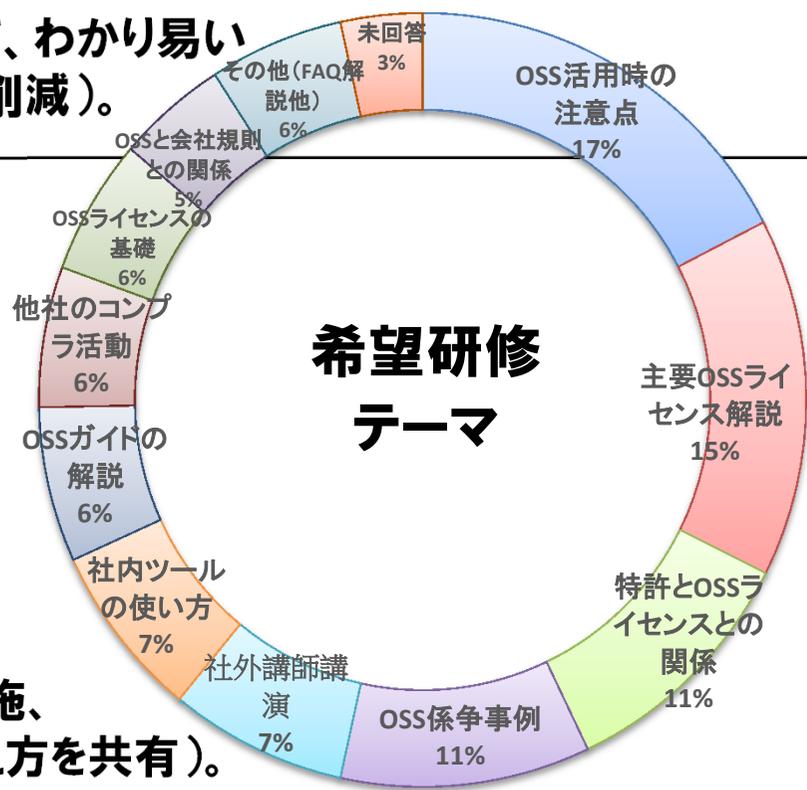
会社名	パナソニック株式会社	Wiki掲載	OK / NG
記載者	加藤 慎介	記載日	2018/05/24
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> • OSSコンプライアンスセミナー（ボリューム：2時間/回、頻度：1回/2年を目安に部門毎に実施、受講者数：400人位/年） <ul style="list-style-type: none"> • 部門毎に開催し、1回の開催時の受講者は20～150人。最長2時間の分量だが、適宜短縮版で実施するケースもあり。対象者はSW技術者を想定も他職能の参加も • OSS e-テスト（ボリューム：20問（簡易なものばかり）、受講者数：のべ1000人超） 		
課題など	<ul style="list-style-type: none"> • 海外・多言語 対応 • 技術職能以外への展開（内容、展開方法） • 強制力をもって実施している施策はなく、これからの展開に苦慮 		
こんな感じで話すことがあります	<ul style="list-style-type: none"> • （全体・一般論として）OSSライセンス条件を守らないことは「著作権侵害」。Panasonicとしてそのような状態で事業をするんですか？ ということ、です • （ソフトウェア開発者に対して）ソフトウェアを開発するのであれば、使うソフトウェアがわかっていて当然ですよ。OSSコンプライアンスのためのOSS管理は、「OSSだからやらないといけない」というわけではなくて、ソフトウェア管理の一環です。ソフトウェアの構成管理できていますか？ • （条件に対する様々な意見に対して）商品やサービスをリリースする際に、様々な条件がありますよね。あくまでOSSライセンスの条件もそのうちのひとつ、と考えましょう。例えば、他社サービスのロゴを載せる、取説に使っていることを示す、こんな使い方はしてはいけない、などなど、厳しい条件は他にもありますよね。 		

会社名	株式会社 日立製作所	Wiki掲載	OK / NG
記載者	OSSソリューションセンタ 野村祐治/片桐和宣	記載日	2018/06/04

実施事項	<ul style="list-style-type: none"> • <u>e-Learning:OSSの基礎 (30分程度)</u> OSSライセンスの理解、OSS活用時の検討事項 (ライセンス, コミュニティ調査, etc) • <u>コンプライアンス研修 (2回/期, 半日程度, 40~50名/回)</u> 希望研修テーマより、毎回テーマを変えて実施 (ライセンス, 知財, 社内手続, etc)、隔回毎に外部講師 (弁護士等) を招聘して実施。
------	---

課題など	<ul style="list-style-type: none"> • ライセンス解釈(ライセンス伝播/特許調査等)に関して、わかり易い判断基準や対応方法を示したい(ケース・バイ・ケース対応削減)。
------	---

こんな感じで話すことができます	<p>(基本)</p> <p>① Give&Takeが基本(OSS活用の自由を与えてくれるOSS社会(文化)、OSS開発者への敬意、OSS理念の理解)</p> <p>② OSSはタダじゃないし、ルールもある</p> <p>③ リスクを分かった上での活用</p> <p>(外部講師招聘)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 受講者が多く、評価も高い。講演依頼ネタ検討は苦勞。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特許とOSSライセンスとの関係については、研修とは別に実務者とのディスカッション(情報収集・共有(悩み等)を実施、研修コンテンツへフィードバック(ケース・バイ・ケースとはいえ考え方を共有)。
-----------------	---



会社名	株式会社 東芝 ソフトウェア技術センター	Wiki掲載	OK / NG
記載者	野末 浩志	記載日	2018/06/04
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> • OSSコンプライアンス・セミナー <ul style="list-style-type: none"> • 初級レベル 2時間/回、1回/2年くらい、OSSに関心のある人向け • 中級レベル 4時間/回、1回/1年くらい、実務者向け 		
課題など	<ul style="list-style-type: none"> • 社内での実施方法 • 教育コンテンツのアップデート • 教育の継続、レベルアップ 		
こんな感じで話すことができます	<ul style="list-style-type: none"> • (レベル、職能に合わせた啓発) はじめて聞く人への注意喚起、マネジメントや営業職向けの背景情報、技術職や知財スタッフ向けの実践方法など、さまざまな内容が必要 • (継続的な実施) 広く集客するために社内イベントの一部でセミナーを実施したりするが、社内イベントの実施が不定期になったりする • (教育手法の開発) e-learning 教材開発や、理解度テストの項目、トレーニングスキル • (コンテンツのアップデート) 継続して実施するには、事例などは新しい内容に更新するべき。 • (自己啓発、後継者育成) ある程度知識を身に付けられたメンバは、社内コミュニティ等で自発的な知識獲得ができるようにしたい。また、トレーニングができる後継者育成も必要。 		

Company	Toshiba corporation	Wiki	OK / NG
Presenter	Hiroshi Nozue	Date	2018/06/04
Item	<ul style="list-style-type: none"> • In-house OSS Compliance Seminars <ul style="list-style-type: none"> • Novice class : 2 hrs, once a 2 years, for anyone interested in OSS • Middle level : 4 hrs, once a year, for a person in charge of development 		
Issue	<ul style="list-style-type: none"> • Education methods • Update turns of contents • Continuing and Progress 		
Sample	<ul style="list-style-type: none"> • (when doing the education or making an Awareness, what do you talk for an example?) • We need curriculums that are suited for the business and experience of attendees i.e. person not in charge of OSS product or higher management of sales. • It is difficult to keep periodical classes so long years under the fragile conditions. • We need various methods for the education i.e. classroom textbooks, e-learning materials or measures of understanding. • We often have difficulty in revising and updating our materials with something new. • The persons who get basic knowledge of compliance may be expected to get further knowledge by themselves and to inform it each other in their community. 		

会社名	ソニー	Wiki掲載	OK / NG
記載者	福地弘行	記載日	2018/6/5
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> • OSS研修(9時間、4回/年) +個別にカスタマイズして国内外拠点で随時開催 約700名 • コミュニティ連携研修(概論、Contribution) • 新入社員研修 • E-Learning (SW開発者以外も想定) 約2000名 		
課題など	<ul style="list-style-type: none"> • 次世代リーダーの育成 • SW開発者以外への浸透、サプライチェーンや協力会社への対応 • OSS利用からOSS開示へ 		
こんな感じで話すことがあります	<ul style="list-style-type: none"> • 講師が信念と熱意をもって語る • 基本方針「会社としてOSSの積極的な利用を促進しています」 • コミュニティ視点「OSSで世界を良くしようと考えている開発者がたくさんいます」 • OSSライセンスが作られた背景や開発者の意図を理解してもらう • 頒布というタイミングの重要性を認識してもらう • 開発以外の担当が登場するユースケースをクイズ形式で提示 (当事者意識を持ってもらう) • 実際にコミュニティとの間で経験したエピソードを話すことで、OSSをリアルに感じてもらう • OSS開示事例をパターンに分けて複数紹介 • Maintainerにコミュニティで行われている実際の開発活動を紹介してもらう 		

Company	Sony	Wiki	OK / NG
Presenter	Hiroyuki Fukuchi	Date	2018/6/5
Item	<ul style="list-style-type: none"> • OSS training (9hours, 4times/year) + customized course for each development site (Japan and abroad) • OSS community training • Freshman training • E-learning (including non-engineer) 		
Issue	<ul style="list-style-type: none"> • Fostering next-gen. leaders • Education to non-engineers, suppliers, subcontracting companies • Open sourcing 		
Sample	<ul style="list-style-type: none"> • Trainer lectures on OSS with belief and enthusiasm • “Our company encourages employees to use OSS actively” • “Many engineers want to build a good world through developing OSS” • It is important to understand the background of each OSS license, and intention of developers • It is important to understand the time of distributing OSS • There are quizzes of use cases where non engineers are involved in OSS distribution. These quizzes make non engineers aware of their responsibility • Episodes related with a community experienced by the trainer give good impression to trainees • By categorizing with few patterns, Sony’s examples of Open Sourcing are explained. • Maintainers undertake trainers, who explain real activities in a community 		

会社名	トヨタ自動車株式会社	Wiki掲載	OK / NG
記載者	竹見 宏樹、松本 茂樹	記載日	2018/6/5
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> • 社内イントラネットにてマニュアル(入門編・実門編)を展開 ※一部の海外R&Dへ展開済 • OSS利用拡大を受けてSW著作権/OSSの全社教育を構築中 		
課題など	<ul style="list-style-type: none"> • OSS社内教育のコンテンツ精査(どの部門に、どの程度のレベルを求めるか) • 啓発の根拠となる経典的なものがない。 <p>※社内の仕組み(SW管理、画一的なポリシーなど)が不足する中で皆さんはどのように教育・啓発していますか？また、どの程度のポリシーを作っていますか？</p>		
こんな感じで話すことがあります	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニティにおけるレピュテーションリスクなど、OSS特有のコンプライアンスリスクの話をしします。 		

会社名	某社	Wiki掲載	OK / NG
記載者	匿名	記載日	2018/05/25
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> • ポスター掲示 2～4／年 • ライセンス啓蒙を社内部署の発表会で開催したことがある(不定期 20人) • 大阪の勉強会でおもしろおかしくコンプライアンスで発表したことがある 		
課題など	<ul style="list-style-type: none"> • ポスターは効果がわからない(啓蒙だから) • 上司がライセンス関連の講習会の必要性を認めない 		
こんな感じで話すことができます	<div style="background-color: #00FFFF; padding: 5px;"> <p>初心者向け(会社用) 世界的なコンプライアンスの重要性、ライセンス概要、複雑なOSS、チェック方法、ポリシーの概要紹介 → なにかしなければならぬと思わせることができた。 → 具体的な行動は求めている</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>一般向け(コミュニティ用) ライセンスコンプライアンスの仕事の概要、ヒヤリハット事例の紹介 → 好意的だった。Wordpress界隈で話したらどうかとの提案があった</p> </div>		

Company	anonymous	Wiki	OK / NG
Presenetr	anonymous	Date	2018/05/25
Item	<ul style="list-style-type: none"> • Poster 2-4/year • Presentation in my unit of my company (20 people) • Talking about the Compliance in Open Source Community's Study group at Osaka 		
Issue	<ul style="list-style-type: none"> • I cannot measure of effect of posters • My bosses cannot ignore the compliance but will not change their style 		
Sample	<div style="background-color: cyan; padding: 5px; border: 1px solid black;"> <p>For Begginer The Compliance in World, the Policy, Overview of Licenses, Checking License and my work → Audience may think importance of compliance → We require not to do anything.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>For IT community Work of License officer and real pitfalls → Audiense suggest Wordpress Community.</p> </div>		

会社名	某社	Wiki掲載	OK / NG
記載者	匿名	記載日	2018/06/07
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> • OSSライセンス基礎 & OSS利用管理プロセス (QMS) に関するe-Learning <ul style="list-style-type: none"> • ボリューム: 約30分/回、頻度:1回/年、受講者数: 10000人超/年 • 全事業部門 (スタッフ職除く) に対し受講必須で配信 • (上記より踏み込んだ内容の) OSSコンプライアンスセミナー (講義形式) <ul style="list-style-type: none"> • オンデマンド開催、約1時間/回、希望者が少なく1回/年程度 • OSS活用推進部門と連携したOSS関連の技術情報を発信する社内セミナーイベント <ul style="list-style-type: none"> • 4回/年程度、うち1～2回でコンプライアンス関連のセミナ実施 (約30分/回) 		
課題など	<ul style="list-style-type: none"> • 任意参加のセミナーは製品開発部門の参加が殆どであり SI部門の参加は疎ら • どの程度理解されたかの確認が非常に困難 • コンプライアンスを強く前面に出しすぎると「OSSは危険だから使わない」という思考になってしまう方が少なからずいる 		
こんな感じで話すことがあります	<ul style="list-style-type: none"> • 構成管理が必要なのはOSSに限った話ではない • OSSとは一般的にはOSI承認ライセンスのものを指すことが多いが これ以外のOSSもある (Ruby License, Creative Commonsなど) <ul style="list-style-type: none"> 一方 ソースが開示されていて一見OSSに見えるが利用は許諾されていないものもあるため個別に確認が必須 • 一般的な著作権侵害事案 (OSS以外も含めて) を紹介して少しでも分かりやすく工夫 		

会社名	Noname Company	Wiki掲載	OK / NG
記載者	名無しさん	記載日	2018/06/08
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> • e-learning、簡単なテスト付き（ソフト開発者とソフト関連部門で内容を変えている） • 開発者の増加に伴いe-learningに移行した • 以前は2時間程度のセミナーを年数回実施していたが現在は依頼があった場合に実施している 		
課題など	<ul style="list-style-type: none"> • 人の入れ替わりが多い。強制力が無いので未受講者が出てしまう • 理解度にバラつきがある • 海外対応 • 「理解しない人」への対応 		
こんな感じで話すことができます	<ul style="list-style-type: none"> • OSSは積極的に利用してください • OSSにはそれぞれライセンスがついており、使用するには契約を結ぶ必要があります • 会社として契約を守らずにソフトを使用することはありえないですね？ • OSSを使う場合、使おうとしている開発者自身がOSSの素性を知り、そのライセンスを守るのは当然です • 会社としてライセンスを遵守するのは当然です。ライセンスを遵守していないソフトを組み込んだ製品を出荷すると、お客様に迷惑をかけることになります。そのようなことは許されません。 		

Company	Noname Company	Wiki	OK / NG
Presentr	Nanashi-san	Date	2018/06/08
Item	<ul style="list-style-type: none"> • e-learning, with simple test. (The contents are changed by software developers and software related departments) • Along with the increase in number of developers, we moved to e-learning • In the past, we held a seminar of about 2 hours a year several times, but now we are implementing it when there is a request 		
Issue	<ul style="list-style-type: none"> • People change a lot. Because there is no compulsion power, unattended persons will come out • There is a variation in understanding degree • Overseas response • Response to "people who do not understand" 		
Sample	<ul style="list-style-type: none"> • Please actively use OSS. • Each OSS has a license, and you need to sign a contract to use it • It is impossible to use software without complying with the contract as a company • When using OSS, developers themselves trying to use themselves need to know the identity of OSS and protect their licenses • It is natural that you comply with the license as a company. Shipment of products incorporating software that does not comply with licenses will cause customers inconvenience. Such things are not allowed. 		